
和歌山地域経済研究機構

平成11年度事業計画

1. 自主研究

(1) テーマ

「若者に魅力ある都市創造、都市環境づくりについて」

(2) 目的

和歌山県は若年層の県外・市外流出が続いており、ますます高齢化が進んできている。一方において若者の流出をくい止め、他方において若者の流入を可能にするような施策を講じて行く必要がある。そのためには、和歌山が若者にとって魅力のある地域であることが絶対条件となる。では、魅力ある地域とは何か。本研究では、このことについて多角的・総合的に調査・研究し、魅力ある地域づくりに対する施策と提言を行うものとする。

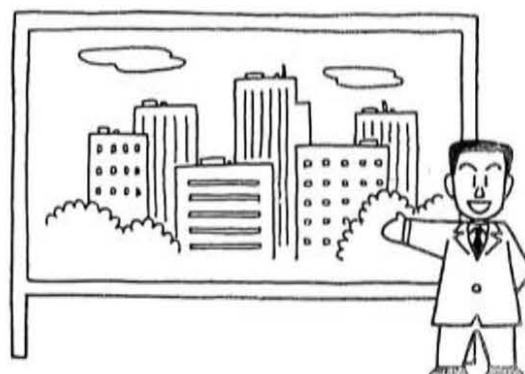
(3) 研究組織

和歌山地域経済研究機構

- ・和歌山商工会議所
- ・和歌山社会経済研究所
- ・和歌山大学経済学部

研究参加者：上記各機関より2～3名程度

研究代表者：小田章(和歌山地域経済研究機構 理事長) (予定)



2. 研究会の設置

地域経済・社会の活性化を図るために、以下の2つの研究会を設置する。

(1) 物流戦略研究会

① 目的

和歌山を基点とした南近畿地域は、太平洋新国土軸の中核を形成する。特に、紀淡連絡道路、京奈和自動車道、近畿自動車道の高速道路が完成すると、本地域は東西・南北に結ばれる。その結節点は単に本地域のみならず、西日本の広域的な人・物・金・情報の一大交流拠点を形成する。その結果、紀淡連絡道路等がもたらす経済効果や地

域活性化効果を吸収できるシステムや施設の整備が求められる。その方途の一つとして、本結節点地域に大規模物流基地を創設し、南近畿の物流機能を集結させることが考えられる。そこで、上記研究会を創設し、南近畿地域の社会、経済・産業の活性化と発展をもたらすであろう物流拠点の創設が可能であるかどうかについて検討する。

②研究テーマ；

- 1) 近畿全域（特に、南近畿を中心に）における物流拠点の調査
- 2) 和歌山地域における物流拠点の調査
- 3) 和歌山地域における物流拠点の創設の必要性と可能性
- 4) 和歌山地域における物流拠点の創設地
 - a) 和歌山港周辺
 - b) 直川地域周辺
 - c) その他
- 5) その他

③. 研究会組織；

和歌山地域経済研究機構

- ・和歌山商工会議所
- ・和歌山社会経済研究所
- ・和歌山大学経済学部

行政関係：（県・市）

学識経験者、流通関係者等

研究会座長：小 田 章（和歌山地域経済研究機構 理事長）

(2) 都市創造戦略研究会

① 目 的；

右肩上がりの経済成長・都市成長の時代は、終わりを告げました。21世紀の扉を開こうとする今日、新しい時代における都市形成のあり方を抜本的にとらえなおし、長期的視野に立った展望・街づくり戦略を確立していく必要があります。本研究会では、こうした問題についての認識を深め、和歌山における今後の街づくりのあり方を検討していきます。

② 研究テーマ；

- 1) 従来の都市形成に関する一般的問題点
- 2) 和歌山県域における都市形成の問題点
- 3) 21世紀における理想的都市形成のあり方
- 4) その他

③ 研究会組織

和歌山地域経済研究機構：

- ・和歌山商工会議所
- ・和歌山社会経済研究所
- ・和歌山大学経済学部

研究会座長：山 田 良 治(和歌山地域経済研究機構 理事)

3. シンポジウムの開催

(1) テーマ

「和歌山の魅力！再発見 ～海・山・川そして人～」

(2) 日時・場所・パネリスト等は未定



